

令和7年度（令和8年度入学）学校説明会用資料

みなさんこんにちは、第八小学校校長の高澤善幸です。第八小学校赴任して3年になりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、早速ですが、第八小学校の教育活動についてお話させていただきます。第八小学校は、明治六年に創立されました。明治41年には現在の地に校舎が建てられ、そこから数えて今年で119年目を迎える歴史と伝統のある学校です。

八小にはシンボルが二つあります。青い目の人形と百年桜です。（貸出依頼も多いです。本年度は、あきる野市で開催されるお祭りや、八王子市に貸出しをする予定です。）このように学校を代表するシンボルがあるというのはとても素晴らしいことだと考えています。青い目の人形は、校長室前の廊下に本日、展示してありますので、ご覧になってください。

次に第八小学校の教育目標についてご紹介します。

- かしこく
- 豊かに
- たくましく

いわゆる、知・徳・体のバランスよく、心も体も頭も育てていきたいと思います。という目標になっています。でも、八小の場合、ここにもう一つ付け加えられています。それが

- みんなと生きる子

です。共生（共に生きる）表しています。この言葉が付け加えられていることは、第八小学校の教育目標の素晴らしいところだと考えています。

八小の校歌の歌詞の一部です。「愛の調べのハーモニー」という一説があります。「ハーモニー」、「調和」です。八小には、現在、2クラスの4年生以外は1クラスずつ、現在184名の子どもたちが在籍しています。小人数の学校の利点を生かして、一人一人がばらばらに存在するのではなく、互いに認め合い、励まし合い、支え合って過ごせることを目指して、教育活動を行ってまいります。

次に、校長の経営方針にお話しいたします。

こちらは、入学後の保護者会で詳しくお話しますので、本日は簡単に触れていきます。

- 未来を拓く子どもの育成

AIの発達やSDGs、カーボンニュートラルなど、社会の進歩は我々の予想をはるかに超え、予測困難な時代と言われています。では、そんな中で、我々はどんな力を身に付けていけばよいのか、どのような子どもたちを育てるかを考えることが大切です。

学校が教えるべき内容を示した学習指導要領には、これからの子どもたちに身に付けるべき力として、「知識・技能」の他、「思考力・判断力・表現力」に加え、「学びに向かう力・人間性」が示されています。

さらに、授業改善の方向性が示されています。それが、「主体的、対話的で、深い学び」です。

ともに、わかりにくい言葉が入っています。「学びに向かう力・人間性」「深い学び」それらのことを受けて、子どもたちに身に付けるべき力を、学校経営方針として示しました。

○未来を拓く子どもの育成

○根を張り、枝（幹）を伸ばし、花を咲かせる

具体的には、

根を張るでは、成長に必要な土台作りを目指します。基礎的・基本的な学力の定着や、生活習慣の確立、健康で過ごすための体作りや人とのかかわる素地を養います。

枝を伸ばすでは、自身の成長を実感しながら、興味の幅を広げることに力を注ぎます。主体的な学び、人とのかかわる学習や、自らの判断でルールや約束事を守る態度、すすんで体を鍛える態度やコミュニケーション能力の向上などを目指します。

花を咲かせるでは、内面の充実とともに、新たな課題への挑戦を推し進めていきます。学びを深めた新たな課題への挑戦、みんなが気持ちよく過ごせる環境作り、食事や睡眠、運動など、健康な生活作り、助け合い、協力して課題を克服する力を養います。

3つの段階に分けてお話ししましたが、これは指導の順序性を示したものではありません。時には、基礎・基本の定着より先に、対話活動から行ったり、ルールを守らせることと、自らすすんで行うようにするにすることを同時に行ったりする場合がありますので、ご了承ください。

（経営方針の中にもありますが、いじめ対策は、八王子市教育委員会あけて特に力を入れています。いじめに気が付いた時点で保護者の方よりお知らせいただく見守りシートや、学期に一度の児童アンケート、日頃の教職員による見守り等を行っています。また、週に一度（八小では木曜日の6時間目になります）、いじめについて話し合う機会を設けて、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けての情報交換等を行っています。）

4月の保護者会で配布した、学校経営方針を合わせてお配りいたしましたので、そちらも参考になさってください。

このほかに八王子の学校全体で、小中一貫教育の推進に努めています。